

ナプロアース社長通信_第6回

前回の続きから……人を育てていく方針に変えてからは会社も順調に大きくなり、あと1年で会社が抱えていた借金がなくなり、少しは楽になれそうだなと思っていた矢先に、あの東日本大震災が起きました。忘れもしない3月11日。普段と何ら変わりのない1日のはずでした。

お昼過ぎに（正確な地震発生時刻⇒平成23年3月11日金曜・14時46分18秒）、地鳴りと共に大きな地震がありました。当時専務だった相浦副社長から『各拠点とも物は落下しているが、大きな問題も無く、社員全員無事です』と連絡が入り安堵しました。

南相馬市小高区にあったホットガレージでも、商品のアルミホイールを含め展示物が全て落下したと聞き、当時の店長に『今から手伝いに行くから店を離れず片付けするように』と指示を出し、南相馬市から国道6号線を南下しました。

ちょうど、磐木太田（いわきおおた）あたりの海沿いを通りかかった時、右から大きな真っ黒い黒煙のようなものが見えました。速度を落としてよく見てみると、どうも火事ではなく大きな津波のような泥水が近づいて来るではありませんか！

すんでのところ左側に小高い丘に上がる道があったので、ハンドルを切って丘を上がると、次の瞬間、国道は津波に飲まれ、後続の車が次々に流されていくのを見ました。

必死の思いで迂回し、ホットガレージの店舗近くに行くと、そこは全て津波に飲み込まれ渦を巻いている状態でした。てっきり、さっき電話で話した店長を含め社員全員が津波に飲まれたと思った時に、もっと優しい言葉を掛けてあげれば……、もっと出来る事があったのでは……と後悔の念に駆られました。（全員避難していて無事でしたが……）

そして翌日、原発が爆発。ベテラン社員だったナプロマン全員が県外へ避難し、被災からわずか1日で会えなくなりました。今まで何十年も一緒に苦楽を共にして仕事してきた仲間が、たった1日で会えなくなるとは思ってもせず、現在に至るまで会うことが出来なくなりました。

だから、今の理念にある「一期一会を忘れず最善のもてなしと行動をせよ！」という言葉が生まれました。誰にでも好きな人や苦手な人、会社でも家庭でも地域でもありますよね。もちろんかけがえのない親とか上司・部下・友人とか……

でも、明日会えなくなると考えて見て下さい。もう二度と顔見る事が出来なくなると考えて見て下さい。親や同僚、友人にあなたはどうか接しますか？あなたならどう接して欲しいですか？好きだ苦手だなど、小さいな事は問題ではなくなるはずです。

好きではなかったお客さまにでも、優しく辛抱強く接することが出来るようになるのではないのでしょうか？私たちは、お客さまや同僚・両親・地域の方々に、そのような気持ちで接する必要があると今は真摯な気持ちでいます。後悔はしたくない、そんな一心です。私が一瞬で社員を失ったときの後悔や喪失感を味わって欲しくはないので、今を一生懸命生き、全ての人々に親切で優しくあって欲しいと願っています。それがナプロマンの原点です。

もしかすると明日から会えなくなる、そんな思いを再度自分に問いかけてみてください。今あなたが接している全ての人たちは永遠ではありません。事故・病気・災害など、ちょっとしたことで居なくなる事があるのです。この続きは次回に。

平成29年11月吉日 池本 篤